

サルコシン/ジメチルグリシン N-メチルトランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-1753

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酸素発生性耐塩性シアノバクテリア *Aphanocethece halophytica* の細胞は、グリシンからベタインを三段階のメチル化プロセスによって合成します。最初の酵素、EC 2.1.1.156、グリシン/サルコシンN-メチルトランスフェラーゼは、サルコシンまたはN,N-ジメチルグリシンのいずれかを生成し、この酵素の作用によってさらにメチル化されてベタイン (N,N,N-トリメチルグリシン) を生成します。これらの酵素は、サルコシンからN,N-ジメチルグリシンの形成を触媒することができます。反応はS-アデノシル-L-ホモシステインによって強く阻害されます。

別名 ApDMT; サルコシン-ジメチルグリシンメチルトランスフェラーゼ; SDMT; サルコシンジメチルグリシンN-メチルトランスフェラーゼ; S-アデノシル-L-メチオニン:N,N-ジメチルグリシンN-メチルトランスフェラーゼ

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.1.1.157

反応 $2 \text{ S-アデノシル-L-メチオニン} + \text{サルコシン} = 2 \text{ S-アデノシル-L-ホモシステイン} + \text{ベタイン}$ (全体反応); (1a) $\text{S-アデノシル-L-メチオニン} + \text{サルコシン} = \text{S-アデノシル-L-ホモシステイン} + \text{N,N-ジメチルグリシン}$; (1b) $\text{S-アデノシル-L-メチオニン} + \text{N,N-ジメチルグリシン} = \text{S-アデノシル-L-ホモシステイン} + \text{ベタイン}$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。